

## 【大学間協定留学】 留学報告書

記入日	2023年6月20日
明治大学の所属学部・研究科	政治経済学部 政治学科(学部/ 学科/ 研究科/ 専攻等)
留学(渡航)した時の学年	3年生
帰国年月日	2023年6月3日
明治大学卒業予定年月	2025年3月
<b>留学先大学について</b>	
留学先国	アメリカ
留学先大学	カリフォルニア州立大学ロングビーチ校(日本語名) California State University Long Beach(現地言語名)
現地使用言語/ 授業使用言語	英語/ 英語
留学期間	2022年8月～2023年5月
留学先大学で在籍した学年	3年生
留学先の所属学部等	<input type="checkbox"/> 特定の学部・研究科等に所属している(以下に学部等名を記入) ※学部等名(日本語): (現地言語での名称):  <input checked="" type="checkbox"/> 特定の学部等に所属せず様々な学部等の授業を履修している <input type="checkbox"/> その他:
形態	<input type="checkbox"/> 国立 <input checked="" type="checkbox"/> 公立 <input type="checkbox"/> 私立 <input type="checkbox"/> その他:
学年暦 記入例:1 学期/4 月上旬～7 月下旬、 2 学期/9 月中旬～2 月上旬	1 学期:8 月中旬～12 月中旬      2 学期:1 月下旬～5 月上旬 3 学期:      ～                      4 学期:      ～
学生数	40,000 人
創立年	1949 年

留学費用			
留学費用項目	現地通貨 (USD)	日本円	備考
授業料	0	0円	
宿舍費	8,200	120万円	
食費	3,800	52万円	
図書費	270	40,000円	
学用品費	100	14,000円	
携帯・インターネット費	530	74,200円	
現地交通費	120	16,800円	( <input checked="" type="checkbox"/> 大学まで徒歩・自転車)
教養娯楽費	4,300	600,000円	滞在中の旅行も含め
被服費	250	35,000円	
医療費	650	90,000円	渡航前のワクチン接種
保険費	1,400	200,000円	形態:
渡航旅費	2,800	400,000円	往復料金
ビザ申請費	21	3,000円	
雑費		円	
その他		円	
その他		円	
合計	22,441	3,141,740円	1USD=140円とする

渡航関連	
<b>渡航経路</b>	
往路 出発地:成田空港 目的地:ロサンゼルス国際空港 経由地:直行便	
復路 出発地:ロサンゼルス国際空港 目的地:羽田空港 経由地:直行便	
<b>渡航費用</b>	
① 往復チケットを購入した場合 航空会社:ANA 料金:40万円(復路をオープンチケットで購入)	
② 片道ずつチケットを購入した場合 往路 航空会社:            料金: 復路 航空会社:            料金:                    ∴合計:	
<b>航空券購入方法</b>	
<input checked="" type="checkbox"/> 旅行代理店(店名:JTB)	
<input type="checkbox"/> インターネット(サイト名:    )	
<input type="checkbox"/> その他(            )	

## 滞在形態関連

1)種類(留学中の滞在先)(例:アパート、大学の宿舎など)

学生寮(寮の名前:Hillside) アパート ホームステイ

2)部屋の形態

個室 相部屋(同居人数 1)

3)共有部分

バス トイレ キッチン(自炊可 自炊不可)

4)住居を探した方法:

大学の寮申し込みのサイト

5)感想:(滞在先の感想とこれから留学する人のためのアドバイス)

当初は国際ハウスに入りたかったが外れてしまい残念に思っていたが、結果的に Hillside で良かったと思っている。現地の子どもたちと友達になりやすいし、ダイニングホールにも近かった。

## 現地情報

1)留学期間中、病気やケガをしましたか。した場合、どこで治療を受けましたか。(例:現地の病院、学内の診療所)

なし  
あり(治療を受けた場所: )

2)留学期間中、学内外で問題はありましたか。あった場合、誰に相談しましたか。

(例:留学先大学の相談窓口、現地の友人等)

なし  
あり(問題の内容や相談した人等: )

3)現地の危険地域情報をどのように収集し、どのような防犯対策をしましたか。また、実際に盗難等を含む犯罪に巻き込まれたことはありますか?その際どのように対処しましたか?

夜一人でキャンパスの外に出歩かない、外出時はペップ・スプレーを持ち歩く、昼間でも人通りの少ない路地裏には入らない

4)携帯電話や、インターネットについて、現地での利用・接続はいかがでしたか。

(例:寮のインターネット接続が不安定で1週間に1度は全く繋がらない時がある。街にあるほとんどのカフェではWiFi接続が可能であったので、寮で使用できない時はカフェに行った。)

寮や大学のWi-Fiは、建物の中やその周辺であれば非常に安定していた。携帯電話はT-mobileのを使っていたが、たまにつながらなくなることもあった。

5)現地での資金調達はどのように行いましたか?(例:現地に銀行口座を開設して日本の親から送金してもらった。銀行口座は現地で外国人登録をしないと開設できない。また、クレジットカードも併用していた。)

現地に銀行口座を開設して日本の親から送金してもらっていた。クレジットカードも作ったが、使う機会はほとんどなく、すべてデビットカードで済んだ。

6)現地では調達できない日本から持っていくべき物があれば教えてください。

特になし。値段は張るが大体何でも手に入る。

7)【授業料負担型の方】授業料の支払方法、支払時期等について教えてください。(例:渡航前に自分で指定したクレジットカードで支払った、現地で開設した銀行のチェックで支払った。)

### 学習・研究活動についてのレポート(履修した科目ごとに記入)

1)留学先で取得した単位数合計	本学で認定された単位数合計 ※該当項目にチェックのうえ、記入して下さい。
25 単位	<input type="checkbox"/> 単位 <input type="checkbox"/> 単位認定の申請はしません(理由: )
2)履修登録の時期・方法及び履修制限	
<input checked="" type="checkbox"/> 出発前 <input checked="" type="checkbox"/> 出発後 <input checked="" type="checkbox"/> 派遣先大学の事務室 <input checked="" type="checkbox"/> オンライン <input type="checkbox"/> メール <input type="checkbox"/> その他( ) <input type="checkbox"/> 履修の制限があった:	
3)以下は留学先で履修した科目についてのレポートです。今後留学をする人たちへのアドバイスも含めてお書き下さい。記入スペースが足りない場合は、A4 用紙で別途作成し、添付してください。	
履修した授業科目名(留学先大学言語):	履修した授業科目名(日本語):
The Global Environment	地球環境
科目設置学部・研究科	Geography
履修期間	Fall 2022
単位数	3
本学での単位認定状況	単位認定(本学で認定された単位数を書いて下さい)
授業形態	対面(チュートリアル、講義形式等)
授業時間数	1 週間に 75 分が 2 回
担当教授	Angela Wranic
授業内容	地理や環境問題の勉強
試験・課題など	学期中に 3 回の対面試験、プレゼンテーション 1 回、授業資料の動画を観て質問に回答する
感想を自由記入	グループワークが多かったが、積極的に発言するようにした。教授が優しく、授業時間内に課題が終わらない場合は期限を延長してくれることもあった。

履修した授業科目名(留学先大学言語):	履修した授業科目名(日本語):
Global Citizenship	地球市民
科目設置学部・研究科	International Studies
履修期間	Fall 2022
単位数	3
本学での単位認定状況	単位認定(本学で認定された単位数を書いて下さい)
授業形態	対面(チュートリアル、講義形式等)
授業時間数	1 週間に 75 分が 2 回
担当教授	Graham Odell
授業内容	移民や環境問題、米軍基地問題について
試験・課題など	授業テーマが 3 週間ごとくらいに変わり、各テーマが終わるごとにグループになってまとめのレポートを書く。また、学生が教授から指定されたテーマごとにリサーチペーパーを書く。さらに、毎授業の前までに授業資料を読んで自分の考えなどをコメントする。
感想を自由記入	毎授業事前に資料を読んで自分の意見を書かなければいけないので大変だったが、授業はとても充実していた。学生の発言も多く面白い授業だった。

履修した授業科目名(留学先大学言語):		履修した授業科目名(日本語):	
Social Trends & Problems		社会の傾向と問題	
科目設置学部・研究科	Sociology		
履修期間	Fall 2022		
単位数	3		
本学での単位認定状況	単位認定(本学で認定された単位数を書いて下さい)		
授業形態	対面(チュートリアル、講義形式等)		
授業時間数	1週間に75分が2回		
担当教授	Carol Campbell		
授業内容	薬物、教育、人種差別、性差、貧困、犯罪、売春、住居、福祉、環境などアメリカの社会問題について幅広く取り扱う。		
試験・課題など	毎週、テーマに基づいて教授から出された質問に自分の意見を書く、選択式のクイズ、記述式のクイズ、のどれかが課される。		
感想を自由記入	授業はグループワークや授業中の課題は無く、教授のレクチャーだけだった。スライドも板書もなかったの でレクチャーに合わせてノートをとるのが大変だったが、内容は初めて知ることばかりでとても面白かった。		

履修した授業科目名(留学先大学言語):		履修した授業科目名(日本語):	
Gender, Race, Sex and the Body		ジェンダー、人種、性別と身体	
科目設置学部・研究科	Women's, Gender, and Sexuality Studies		
履修期間	Fall 2022		
単位数	3		
本学での単位認定状況	単位認定(本学で認定された単位数を書いて下さい)		
授業形態	対面(チュートリアル、講義形式等)		
授業時間数	1週間に75分が2回		
担当教授	Mariam Youssef		
授業内容	ジェンダー論の基本		
試験・課題など	レポート提出が月に1回ほど。リテイングの課題が毎授業前にあった。		
感想を自由記入	学生がたくさん発言していてとても刺激を受けた。グループワークも二回に一回ほどあった。教授のレクチャーと学生の発言で授業が進んでいった。新しく知ることも多く、面白い授業だった。		

履修した授業科目名(留学先大学言語):	履修した授業科目名(日本語):
Introduction to Queer Studies	クィアスタディ入門
科目設置学部・研究科	Women's, Gender, and Sexuality Studies
履修期間	Spring 2023
単位数	3
本学での単位認定状況	単位認定(本学で認定された単位数を書いて下さい)
授業形態	講義形式(チュートリアル、講義形式等)
授業時間数	1週間に75分が2回
担当教授	Anat Schwartz
授業内容	クィア理論を幅広く勉強する
試験・課題など	4月20日のEarth Dayに向けて学期の初めからグループを編成しパネルを作製した。二週間に一回くらいの頻度でオンラインでクイズがあった。
感想を自由記入	毎回グループで課題資料に基づいてディスカッションをした。リレーの資料が毎回とても多く、内容も難しかったので付いていくのが大変だった。

履修した授業科目名(留学先大学言語):	履修した授業科目名(日本語):
Women in History of US Film	アメリカの映画史における女性
科目設置学部・研究科	Film
履修期間	Spring 2023
単位数	3
本学での単位認定状況	単位認定(本学で認定された単位数を書いて下さい)
授業形態	講義形式(チュートリアル、講義形式等)
授業時間数	1週間に165分が1回
担当教授	Diana Anselmo
授業内容	女性映画監督の作品に注目し、映画でどのように女性が描かれてきたかや映画業界の女性の立場の変遷を見る
試験・課題など	自分のブログを開設し、毎授業後に講義内容や資料に基づいてリアクションペーパーを投稿する。中間試験は対面で記述式のクイズ。授業の前までに指定された映画を観る。
感想を自由記入	授業内容は知らないことばかりでとても面白かったが、教授のレクチャーが速くてついていくのが大変だった。毎回授業を録音して、授業後に聞き返しながらノートを取っていた。

履修した授業科目名(留学先大学言語):		履修した授業科目名(日本語):	
International Environmental Issues		国際環境問題	
科目設置学部・研究科	Geography		
履修期間	Spring 2023		
単位数	3		
本学での単位認定状況	単位認定(本学で認定された単位数を書いて下さい)		
授業形態	講義形式(チュートリアル、講義形式等)		
授業時間数	1週間に75分が2回		
担当教授	Unna Lassiter		
授業内容	都市の在り方や野生動物保護などさまざまな環境問題を取り上げ、ディスカッションしながら授業を進める。		
試験・課題など	記述式のクイズが3回		
感想を自由記入	テーマごとに指定の本を読まなければいけなかったのが負担は大きかったが、授業中の課題は無かったし教授がとても優しかったのでよかった。		

履修した授業科目名(留学先大学言語):		履修した授業科目名(日本語):	
Pyramids, Tombs and Treasure		ピラミッド、墓、秘宝	
科目設置学部・研究科	Anthropology		
履修期間	Spring 2023		
単位数	3		
本学での単位認定状況	単位認定(本学で認定された単位数を書いて下さい)		
授業形態	講義形式(チュートリアル、講義形式等)		
授業時間数	1週間に75分が2回		
担当教授	Sachiko Sakai		
授業内容	考古学の基本について。		
試験・課題など	オンラインで中間試験と期末試験。実験レポートが月に一度。ビデオを観て書くレポートが月に一度		
感想を自由記入	授業内容は基本的な考古学だった。		

履修した授業科目名(留学先大学言語):	履修した授業科目名(日本語):
Self Defence	自己防衛
科目設置学部・研究科	Kinesiology
履修期間	Spring 2023
単位数	1
本学での単位認定状況	単位認定(本学で認定された単位数を書いて下さい)
授業形態	実演(チュートリアル、講義形式等)
授業時間数	1週間に50分が2回
担当教授	DongQuan Ha
授業内容	自己防衛のいろいろなテクニックを教わった。
試験・課題など	記述式の課題が一つ。出席していれば基本的に単位がもらえる
感想を自由記入	カンフと柔道を掛け合わせたような授業だった。学期の前半と比べると後半になるにつれて他の学生とペアになって実践形式で行うことが多くなった。

### 卒業後の進路について

1) 進路 ※3年生以下の方は今後の予定を記載してください(下記2以降は記入不要)

就職  進学  未定  その他:

2) 進路決定の際に活用したウェブサイト、書籍、機関など

3) 就職を選択した方は、差し支えなければ内定先を教えてください。また、その企業を選んだ理由も教えてください。(内定を得た企業すべての名前、あるいは入社すると決定した企業の名前のみでも構いません)

※就職活動をこれから始める場合は、差し支えなければ現時点で希望する業界、職種等を教えてください。

4) 就職活動中・終了に関わらず、就職活動について感想・アドバイスをお願いします。

(例:留学中の就職活動に向けた準備、帰国後に就職活動を始めるにあたり注意すること等。就職活動を不安に思い、留学を断念する方もいます。ご自身の経験を踏まえてアドバイスをお願いします。)

※就職活動をこれから始める場合は、留学経験を通して就職活動に対する意識や希望する就職先の変化等を教えてください。

5) 進学を選択した方は、差し支えなければ進学先を教えてください。

6) 進学を志す留学希望者に向けたアドバイス(準備、試験対策等)をお願いします。

7) その他を選択した方は、その進路を選択した理由と、留学希望者に向けたアドバイスをお願いします。



## 留学に関するタイムチャート

留学するまでの準備、試験勉強、留学中、留学後、特に留学に関連して発生した事項を記入してください。  
 (例:語学試験の勉強、選考、出願、ビザ申請・取得、航空券購入、予防接種、滞在先の確保、留学中の中間試験、  
 期末試験、その他イベント等)

留学開始年の前年	1月～3月	
	4月～7月	
	8月～9月	TOEFLの勉強
	10月～12月	出願、選考
留学開始年	1月～3月	
	4月～7月	ビザ申請・取得、航空券購入、予防接種
	8月～9月	渡航、秋学期開始
	10月～12月	中間試験、期末試験
留学/帰国年	1月～3月	春学期開始、中間試験
	4月～7月	期末試験、帰国
	8月～9月	
	10月～12月	

## 留学体験記

※ この留学先を選んだ理由、留学生活全般について、また、これから留学を志す後輩学生へのアドバイスなど、自由に記入してください。

私はジェンダー問題や環境問題に興味があり、全ての協定校の授業を調べて、それらの授業が一番多くある大学としてカリフォルニア州立大学ロングビーチ校を選んだ。カリフォルニア州はリベラルで環境政策や環境エンジニアの学部、ジェンダーやクィアの学部まであった。実際行ってみて、カリフォルニアはLGBTQ+と呼ばれる人たちにとても理解があって日本との違いを身にもって感じた。

留学生活は、最初の学期は慣れないことばかりで不安やストレスが多かったが、二学期目になると課題や寮生活にも慣れて時間が過ぎるのがあっという間に思えた。留学でできた友達はかけがえのない存在で、毎日のように会っていたからこそ日本に帰国するときは本当に悲しかった。苦しい思いもたくさんしたが、それも含めて自分が大きく成長したと思うし視野も広がった。留学に行くと本当に良かった。

留学は大きな決断が必要だしカリフォルニア州立大学ロングビーチ校は明治大学の交換留学先として倍率が高いが、挑戦せずに後で後悔するのはもったいない。留学に限らず何をするにしても少しでも興味があるならぜひ思い切って挑戦してほしい。